

令和8年度
社会福祉法人 富山市社会福祉協議会 事業計画書

我が国では、人口減少と高齢化の進行により、単身高齢者世帯の増加や 8050 問題、ひきこもり、ヤングケアラーなど、地域における生活課題が多様化・複雑化しています。加えて、地域コミュニティの希薄化や担い手不足により、従来の支援体制では対応が困難な状況が生じています。

そのような中、国は「地域共生社会」の実現に向け、世代や分野を横断する包括的支援体制の構築を推進されており、重層的支援体制整備事業をはじめ、生活困窮者自立支援の充実、子ども・子育て支援の強化など、さまざまな施策が展開されています。

こうした状況を踏まえ、社会福祉協議会には、地域の多様な主体と連携し、相談支援から地域づくりまでを一体的に進める中核的役割が求められていることから、本会では、富山市の「地域福祉計画」と連携を図りながら令和6年度に「第4次地域福祉活動計画（ささえあいプランとやま）」を策定し、地域福祉を推進しています。

本年度は、その2年目にあたり、基本目標である「地域共生社会に向けた人づくり」、「地域福祉がいきづく体制づくり」、「安心して自分らしく暮らせる地域づくり」の実現に向けて、地域の関係機関や団体・組織等と連携・協働のもと事業展開に取り組めます。

具体的には、広報活動普及事業や福祉の講師派遣事業を通じて、地域福祉活動やボランティア活動への理解と参加の促進を図るとともに、住民主体による支え合い活動の拡大に向け、地域総合推進事業（ケアネット事業）及び生活支援体制整備事業を展開し、地域福祉の推進に取り組めます。

また、複合的な課題を抱える世帯の増加に対応するため、総合相談体制の充実を図り、生活困窮者自立支援事業や福祉後見サポート事業を通じて切れ目のない支援を行います。あわせて、ボランティアセンター運営事業を基盤に、多様な主体との協働による地域のつながりの再構築を進めるとともに、経営改善計画および SDGs の理念を踏まえ、持続可能な地域福祉の実現を目指します。

令和8年3月

社会福祉法人富山市社会福祉協議会
会 長 高 城 繁